

## 平成28年度 仙台東高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす								
各教科指導目標	国語		○	○	地理歴史		○	○	公民		○	○	数学		○	○	理科		○	○					
	言語文化に対する理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、総合的な言語能力を養う。					我が国の歴史・地理の理解のもと、諸外国の文化・その背景を理解し、言語活動を重視し、国際理解を深める。国際社会の有為な形成者の一人となる資質を養う。					現代社会のしくみを理解し、言語活動を重視し、先哲の考えを取り入れながら、他者の尊重・主体的な生き方を模索する態度を養う。					数学的活動を通して、様々な事象を数学的に考察し、表現する能力を高め、数学的根拠に基づいて判断する力と問題解決能力を育てる。					科学的な自然観を総合的に身につけることにより、自然と人間の密接な関わりを探求し、自然災害や環境問題に対応できる能力を育成する。				
	保健体育		○	○	芸術		○	○	外国語		○	○	家庭		○	○	○	情報		○	○				
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。					芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。					外国語を通して、外国の文化に対する関心を高めるとともに、情報や考えを適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。					社会と家庭とのかかわりについて理解を深め、生活に必要な知識と技術を取得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。					情報化が社会に及ぼす影響と情報モラルを理解させる。さらに、情報技術を適切に活用する能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。				
学年共通									かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標													
指導内容	① あいさつの励行			◎					1年	○新しい環境に適応するとともに他者との望ましい人間関係を構築する。 ○新たな環境の中で自らの役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ○職業や学問に対する理解を深め、自分の将来像を描く。															
	② 清楚なみだしなみ						◎			2年	○他者の価値観や個性を理解し、自分との差異を認めつつ受容する。 ○学習活動を通して自らの勤労観、職業観の形成を図る。 ○自分の将来像や社会貢献を見据えた進路選択をする。														
	③ 朝学習の徹底				○		◎		3年		○自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する。 ○進路実現のために取り組むべき課題は何かを考え、実行に移す。 ○理想と現実の葛藤を通して、困難を克服するスキルを身に付ける。														
	④ 清掃活動の徹底			○			◎																		
	⑤ 週末課題の提出						◎																		
	⑥ 国際理解の推進						◎																		
指導内容						ねらい						指導教科等	実施時期	かかわる	もどめる	はたす									
1年	学習状況調査						学習習慣・意識生活状況を振り返り、高校生活のスタートにあたっての目標をたてる。						総学	4月		◎									
	新入生オリエンテーション						高校における具体的な学習方法や生活の仕方などについて学ぶことにより、学習習慣の早期確立を図る。						総学・特別活動	4月	○	◎									
	キャリアセミナー①						職業と大学の学部学科との関わりを知り、自分にとって、どのような進路がよいかイメージする。						総学	5月	○	○									
	将来設計①						興味ある職業について理解を深め、社会との関わりを意識しつつ、将来の目標実現のために進むべき進路を設計する。						総学	4月	◎	○	○								
	オープンキャンパス						将来の目標を実現するために、進むべき大学の学部学科について、事前研究して実際に見学しグループ毎に発表する						総学	7月		◎									
	課題発見・解決学習						現代社会の諸問題に関して国際的な視野を持って課題を発見し、具体的な解決について検討し、グループ毎に発表する						総学	9～11月		◎	○								
	EQ(こころの知能指数)教育						人と人との関わりを重視し、コミュニケーション力を高めることでチームワーク力を高める						総学	11月	○		○								
	大学模擬授業						様々な分野の講義を体験することにより、学問への啓発を行い、進路意識の高揚を図る。						総学	10月		◎									
キャリアセミナー②(少人数セミナー)						様々な分野で活躍している社会人の話を聞くことにより、職業や生き方について探求するきっかけとする。						総学	12月	◎	○										
2年	学習状況調査						学習習慣・意識生活状況を振り返り、2学年のスタートにあたっての目標をたてる。						総学	4月		◎									
	オープンキャンパス						将来の目標実現へ向けて修正をしつつ、昨年度の研究をさらに深めて、事前研究して実際に見学しグループ毎に発表する						総学	7～8月	○	○	○								
	志望理由書作成						なぜ、自分はこの大学・学部に進む必要があるのかを明確に意識させて、大学での研究等も含めて表現させる。						総学	10月	◎	○									
	課題発見・解決学習						国際的な視点から問題を分析し、そこに潜む問題を発見し解決策を提案し、プレゼンテーションする力を養う						総学	4～6月		◎									
	EQ(こころの知能指数)教育						人と人との関わりを重視し、コミュニケーション力を高めることでチームワーク力を高める						総学	11月	○	◎									
	国際講演会						国際的な活動をしている講師のライフストーリーや体験を通して、国際的な視野を広げ、自らの進路を考える機会とする。						総学	11月		◎									
	大学模擬授業						様々な分野の講義を体験することにより、学問への啓発を行い、進路意識の高揚を図る。						総学	10月	○	◎									
3年	学習状況調査						学習習慣や意識生活状況を振り返り、3学年のスタートにあたっての目標をたてる。						総学	4月		◎									
	分野別研究						自分の興味・関心のあるテーマを2つ取り上げ、そのテーマに潜む問題を発見し、その解決策についての研究を深める。						総学	4～10月	◎	○									
	進路講演会(進路別)						自分の進路に関する分野の講話を聞くことにより、進路意識の高揚を図る。						総学	5月		○									
	進路別学習(現代を知る)						現代社会の諸問題に関して、資料を読み、問題意識を持ち、自己の考えを論理的に表現する力を養う。						総学	11～1月		◎	○								
	課題発見解決学習・小論文						現代社会が抱える諸問題に対して、内在する諸問題を発見する力を身につけ、さらに解決策まで考えを進め、論理的に表現する力を養う。						総学	4～10月	○	◎									
	国際講演会						国際的な活動をしている講師のライフストーリーを通して、国際的な視野を広げ、将来の自分の生き方について考察する。						総学	11月		◎									